※本安全性要約書は 2014 年時点の情報に基づき作成されています。それ以降に安全性情報が更新されている場合がございますので、最新の情報につきましては本製品の購入先経由で SDS を入手してご確認ください。

作成:2014 年 3 月 11 日

三井化学

GPS 安全性要約書

エポミック®(汎用エポキシ樹脂)

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。 ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明
三井化学の製品名	エポミック®R139、R139S、R140、R140A、R140C、R140P、R140T
化学名又は一般名	2,2-ビス (4-ヒドロキシフェニル)プロパンのエピクロルヒドリンによるジグリシジルエーテル化物 (IUPAC 名 : 2-(chloromethyl)oxirane; 4-[2-(4-hydroxyphenyl)propan-2-yl]phenol)
別名	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状のもの)、ビスフェノール A/エピクロロヒドリンコポリマー
CAS 番号	25068-38-6
濃度	99 % 以上
官報公示整理番号	化審法 :(7)-1283、安衛法 :既存

2. 物質の概要 (General statement)

エポミック® は、水に不溶で、揮発しにくい淡黄色透明の液体です。 一般的には、塗料、電気・電子部品、土木建築剤、接着剤、成形材料原料などに使用されています。

エポミック® は皮膚や眼に対し刺激があり、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります。

エポミック® は、水棲生物に対してわずかに有害性があると考えられます。 環境中に排出された場合、土壌と水域に移行しやすいと予測されます。 環境中に残留する可能性がありますが、生物に蓄積する可能性は低いと考えられます。

作業者がエポミック® を使用する際は、ミストが発生しないように管理して下さい。 ミストが飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。作業環境濃度が高い場合は、その濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具の装着を考慮して下さい。 マスクは、オイルミストに適応できる RL または DL シリーズから選択して下さい。 付着すると有害性のある物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。

消費者がエポミック® を含む製品を使用する場合は、商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい。

環境への影響を最小化するために、エポミック® またはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

3. 製品情報 (Product information)

三井化学のエポミック® は、主に塗料、電子・電機材料、接着剤などに使用されています。その他の一般的用途には、土木建築剤、成形材料原料などがあります。

(出典 ：NITE CHRIP IV. 暴露情報 http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces)

この製品に関する詳しい条件については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

https://www.mitsuichem.com/contact/safety/

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

エポミック® は水に不溶で、揮発しにくい淡黄色透明の液体です。

特性	説明
外観	液体
色	淡黄色透明
臭い	知見がありません
融点	-16 ℃ (1013 hPa)
沸点	知見がありません
比重	1.16 (20 ℃)　(水より重い)
引火点	266 ℃ (1013 hPa)　(通常の温度範囲では引火しない)

発火点	470 ℃　(常温の空気と接触しても自然発火しない)
蒸気圧	4.6 × 10^{-8} Pa (25 ℃)　(ほとんど揮発しない)
溶解性	水に不溶、ほとんどの有機溶媒に可溶

5. ヒト健康影響　(Health effect)

エポミック® は皮膚や眼に対し刺激があり、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります。

影響	説明
急性毒性 (経口)	飲み込んだ場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます
急性毒性 (経皮)	分類できません
急性毒性 (吸入)	知見がありません
皮膚腐食性・刺激性	皮膚に刺激があります
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	眼に対し刺激があります
呼吸器感作性	知見がありません
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患が生じる可能性は低いと予想されます
発がん性	知見がありません
生殖毒性	生殖能又は胎児へ悪影響を及ぼす可能性は低いと予想されます
特定標的臓器 (反復ばく露)	知見がありません

6. 環境影響　(Environmental effect)

エポミック® は、水棲生物に対してわずかに有害性があると考えられます。 環境中に排出された場合、土壌と水域に移行しやすいと予測されます。 環境中に残留する可能性がありますが、生物に蓄積する可能性は低いと考えられます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対してわずかに有害性があります
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	環境中に排出された場合、土壌と水域に移行しやすいと考えられ

	ます（予測結果）
生分解性	環境中に残留する可能性があります
生物蓄積性	生体内に蓄積する可能性は低いです

7. 暴露の可能性（Possibility of exposure)

エポミック® が暴露される可能性のある主な工程は以下の通りです。 これらの工程で、ヒトへの暴露もしくは環境への放出の可能性があります。

対象	用途
作業者	エポミック® を工業的に使用する過程（製造、調合、コーティング使用、鋳物使用など）または、エポミック® を含む製品（塗料、電子・電機材料、接着剤など）を工業的に使用する過程
消費者	エポミック® を含む製品を使用する過程（日曜大工での接着剤や塗料など）
環境	製造または調合等の工業的に使用する過程、エポミック® を含む製品を使用する過程

参考: ECETOC TRA ver. 2

8. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

7. 暴露の可能性で挙げた工程に携わる方は、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。 これらリスク管理措置をとることで、作業者、消費者および環境のエポミック® に対するリスクは管理できると判定されます。

対象	リスク管理措置
作業者	・ミストが発生しないように管理して下さい。 ミストが飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 作業環境濃度が高い場合は、その濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具の装着を考慮して下さい。 マスクは、オイルミストに適応できる RL または DL シリーズから選択して下さい。 ・付着すると有害性のある物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。 ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設置して下さい
消費者	商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい
環境	・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点

	検を実施して下さい ・エポミック® またはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

9. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014 年 3 月 24 日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/3/11			2011/4/1	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。